



● 草の根パートナー型

2017年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ミャンマー連邦共和国
2. 事業名	シャン州における森・里・川・湖をつなぐ豊かな地域づくり支援事業
3. 事業の背景と必要性	アジアのラストフロンティアと呼ばれるミャンマー連邦共和国は2011年の民主化以降、都市部を中心に急速な経済発展を遂げている。これに伴い山間部は換金性の高い樹木へのプランテーション化や無秩序な農地転換の加速と、薪炭材や木材および薬用植物の違法採取による森林資源の乱獲が問題である。当財団が南シャン州において植物資源の持続的利活用促進事業に取り組む中、事業対象地域は極端気象の発生と森林の減少により、1) 生物多様性の消失、2) 植物資源の枯渇、3) 暮らしと生態系のバランス崩壊（文化の多様性の喪失）のみならず、4) 水源涵養機能の低下、および5) 土壌の流出が確認された。 本提案事業は、当財団が取り組んできた“森林資源の持続的活用による地域住民の所得向上”に加え“生物多様性が維持された水資源保全型の森林再生”のための基盤を形成することで、共生便益を図る。
4. プロジェクト目標	生物多様性・水資源の保全と地域住民の所得向上－共生便益モデルの構築
5. 対象地域及び管轄する領事館	シャン州ユワンガンタウンシップ、ピンロンタウンシップ
6. 受益者層（ターゲットグループ）	森林局職員および対象地域の村人（低所得者～篤農家を含む）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. 生物多様性が維持された森林再生に必要な基盤の構築 2. 水資源保全型森林再生のモデル提案 3. 対象地域住民の植物資源の栽培化による所得向上 4. 地域の植物資源の持続的活用 <活動> 1. インベントリーによる地域植物資源の発掘と森林再生のための苗木生産・植樹 2. 水源地での水質調査と評価と保全のための人材育成 3. 植物資源の栽培化と収穫・加工の技術指導 4. 着生ランの増殖と村への植栽・栽培マニュアルの製作
8. 実施期間	2019年5月～2023年3月（3年11か月）
9. 契約金額	52,109千円
10. 事業の実施体制	ミャンマー天然資源環境保全省と牧野記念財団が協力協定を結び、ユワンガンに地域事務所を設置し、共同チームを結成して事業を実施する。現地コーディネーターを雇用し、安全管理を徹底する。直接的な人材育成は森林局職員を教育者として育成し、派遣専門家とともに協働で対象地域住民へ普及活動を行い、事業目的を達成するとともに、プロジェクト終了後の自立発展性に努める。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益財団法人高知県牧野記念財団
2. 活動内容	有用植物研究・開発、植物野外調査、植物分類学研究、牧野富太郎博士の業績を顕彰する事業（高知県立牧野植物園の管理運営）